

三重県遺族会の概要

名称 財団法人 三重県遺族会
 事務所 津市広明町367
 三重県遺族会館内（三重県護国神社境内）
 連絡先 TEL 059（225）2073
 FAX 059（226）6460
 結成年月日 昭和22年4月25日（三重県遺族会の前
 身、三重県遺族互助連盟協議会として発足）

会員数 26,847人（平成19年1月現在）
 正会員：2,503人
 遺児会員：3,644人
 一般会員：20,700人

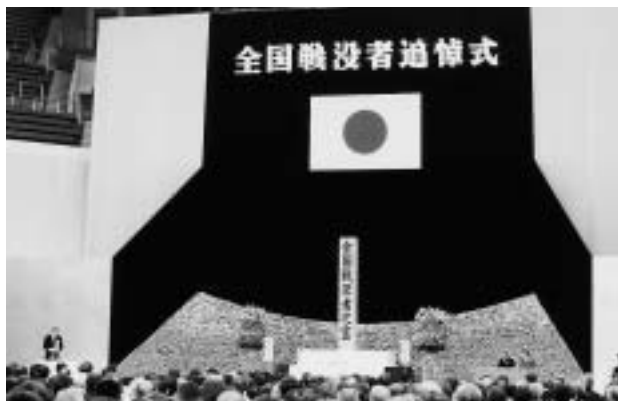
役員名簿（前ページに掲載）
 本部役員（名誉会長・会長・副会長・理事・監事）
 評議員
 事業委員会（広報委員・英霊顕彰委員・組織検討
 委員）

三重県遺族会が目指す指標

戦没英霊の顕彰、戦没者遺族の福祉の増進・慰藉
 救済の道を開くとともに、遺族相互の連帯の強化を
 図り、国民の道義の昂揚、品性の涵養に努め、かつ
 ての戦争の歴史を風化させることなく、平和日本の
 建設に邁進する。

取り組み

1. 英霊顕彰運動
 - ・総理、閣僚等の靖国神社参拝の継続と定着を図る
 - ・会員自らが靖国神社・護国神社への参拝
 - ・知事等の護国神社参拝を推進
 - ・正しい歴史観の確立
 - ・市町における慰霊祭等の実施
 - ・全国戦没者追悼式への参列
2. 戦没者遺族の処遇改善運動
 - ・公務扶助料等の改善運動
 - ・特別弔慰金支給法の改善
 - ・未処遇遺族の調査、申請手続きの支援
3. 遺児による慰霊友好親善事業及び遺骨収集事業の拡
 充運動
 - ・未実施地域の解消
 - ・一人でも多くの遺児が父の戦没地を訪ねる機会を得
 る運動
 - ・事業参加者報告会開催によって未参加者の参加を促す
4. 遺族相互の連帯強化と研鑽
 - ・組織の主流となった遺児の自覚を喚起し、各種慰霊祭
 への参加をはじめ、遺族会活動への参加、協力を促す
 - ・戦没者の妻の会であった婦人部から、女性遺児を含
 めた「女性部」の充実と後継者の育成に努める
 - ・市町村合併による組織の再構築
 - ・会員の健康維持を図るスポーツ大会の開催



全国戦没者追悼式
 （平成18年8月15日）
 全国戦没者追悼式には、三
 重県遺族会から毎年、二百
 名前後の代表が参列してい
 ます。



三重平和祈念館
 平成十六年十月、三重県
 遺族会館に「三重平和祈念
 館」（資料展示室）がオープ
 ンしました。看板揮毫は齋
 藤十朗会長。





光の祭典 靖国神社みたままつり
三重県遺族会婦人部（現女性部）と壮年部（現遺児会員）は、ちょうちんを永代献灯しています。

遺児による慰霊友好親善事業参加者体験発表会
（平成18年12月10日）



三重県戦没者追悼式で追悼のことばを述べる齋藤十朗会長
（平成19年7月19日）



県遺族会スポーツ大会
（グランドゴルフ）

今後の課題

戦没者の父母会員が皆無に近くなり、妻・兄弟会員も減少の一途を辿るいま、遺児会員の奮起が組織の存亡を握っていると言えます。

命を賭けて祖国を守ってくれた戦没者の、崇高な精神を誇りとして、英霊顕彰と、歴史認識の共有、会員相互の連帯強化に邁進することが、会の継承とその強固な団結に繋がるものであります。

かつての戦争の悲劇を風化させることなく、確実に後世に伝えて、再びあの惨禍を繰り返すことのない（戦争遺族を作らない）平和な社会を構築するための語り部となることが喫緊の課題です。